

3年

あおいあおい海

環境問題を考えたときに、海に囲まれた日本にとって海洋汚染は深刻な問題です。海洋ごみは年々増え続けており、このまま何の対策も行わなければ 2050 年には海に住む魚などの生物よりもごみの方が多くなると言われています。特に深刻なのは海洋プラスチックごみですが、他にも海を汚染し、生物や環境に多大な影響を与えるものは多く、人の日常の暮らしから発生したものばかりです。(環境省ホームページより)

美しい海のサンゴと、その周りに集まる生き物をつくりました。ひとかたまりの粘土から、形をひねり出し、つまみ出して形をつくります。色も形も様々なサンゴが、世界には 800 種類もいるそうです。自分の思う美しい海のサンゴをつくりました。

サンゴは、海洋汚染、地球温暖化、オニヒトデの発生などにより、減ってきているそうです。美しいサンゴをつくることで、環境問題について考えるきっかけにし、未来の美しい海を自分たちで守っていこうという思いをもってほしいと思います。



夜の城

ステンシルの技法を使った作品です。

- ①ローラーを使い、紙を昼のイメージの色にする。
- ②シールを□△○などの形に切り、積み木のように組み合わせて城をつくり、昼の色の紙の上に貼る。
- ③再び、ローラーで昼の色を重ねる。
- ④シールで、城の周りの様子や、好きな形をつくり、重ねて貼る。
- ⑤全体に黒いインクを付け、夜にする。
- ⑥シールをはがす。
- ⑦城の様子が分かるように付け足しをする。

ローラーは使い慣れていない人がほとんどですが、いろいろな色を重ねることを楽しんでつくりました。どんな作品になるのか、よく分からないまま活動を積み重ねましたが、最後にシールをはがして、下の色が出てきたときには驚きの声を上げていました。



幻の花

幻の花の種から、根が出て、芽が出て、誰も見たことのない花が咲きました。花や葉、茎など、細かいところも意識して描いています。筆の太さや筆遣いを工夫している人が多かったです。色を重ねたり、模様を描いたりするとき、どの順番で取り組むのか、見通しをもっている様子もみられました。